

苦情についての報告

学校法人蒲原学園
理事長 田邊朝子
令和7年6月30日

苦情内容について

令和6年7月某日、電話にて苦情の申し出を頂きました。

苦情の内容は

- ・七夕祭り見学に行った日の帰宅後発熱し、受診をしたところ脱水症状・熱中症の疑いと診断された。熱中症警戒アラートが出ている中、お祭り見学に行く必要性があったのか。
 - ・熱中症への対策、認識が不十分ではないか。
- という内容でした。

園の対応として

園行事が原因でお子さまが発熱してしまった事、お詫びをさせて頂きました。

熱中症警戒アラートが発令されている中でも、園バスを利用するなど、見学に出掛けた経緯と理由をご説明させて頂きましたが、子どもの体力や暑くなり始めの季節などを総合的に判断して、今後はもっと慎重に園外活動の可否を判断していく事をお伝えいたしました。

今後の対策について

- ・夏の園外活動についてより慎重に判断し、下記の通り熱中症対策ルールを再確認し、職員全員に周知いたしました。
- ・熱中症指数計を導入し、屋外活動時は随時指数の計測をする。
- ・水分補給には気を付け、水筒の残量をこまめに確認しながら水分補給を促す。
- ・職員室に経口補水液・塩分タブレットを常備し必要に応じて供与する。

対応者 事務長 田辺修司